

整理番号	HT29119	分野	農学・生物	キーワード	きのこ
------	---------	----	-------	-------	-----

研究機関名	東京農業大学				
プログラム名	夢広がる“きのこ”の世界 ～健康や環境を守る知られざる力を体験しよう～				
先生（代表者）	江口 文陽(えぐち ふみお) 地域環境科学部森林総合科学科・教授				
自己紹介	1965年、群馬県生まれ、東京農業大学「食と農」の博物館長、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員（農学・環境班）、日本きのこ学会前会長。日本木材学会賞、森喜作賞、日本きのこ学会奨励賞受賞。専門はきのこ学、特にきのこの薬理効果の研究を実施。きのこ好きで、きのこグッズ約4000種類のコレクターでもある。				
開催日時・募集対象	Aクラス:平成29年8月22日(火) Bクラス:平成29年8月23日(水)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	各回25名
集合場所・時間	東京農業大学世田谷キャンパス 7号館2階化学第4実験室		(集合時間)	9時30分	
開催会場	東京農業大学世田谷キャンパスおよび東京農業大学「食と農」の博物館 住所:〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1(世田谷キャンパス) 住所:〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-28(「食と農」の博物館) アクセスマップ URL: http://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/ アクセスマップ URL: http://www.nodai.ac.jp/campus/facilities/syokutonou/access/				
内 容					
<p>スーパーで見かけるきのこには、私たちの生活にとって役立つパワーが備わっています。きのこは、食物連鎖のピラミッドの中では分解者に分類されます。森や草原では、落ち葉や小枝そして倒れた木々を分解して質の良い肥料を作り出します。また、きのこの持つ成分には、病気の予防や治療に対する高い効果があることもわかりました。健康やよりよい環境をつくるためのきのこパワーを科学実験で検証してみませんか？</p> <p>午前は江口文陽が講義「きのこ環境・きのこ健康について科学する」を担当し、実験は「きのこの酵素と成分のパワーを知ろう！」と題して分光光度計や顕微鏡により酵素活性値の測定やきのこの摂食によって病態改善した肝臓や腎臓の病理組織を観察します。</p> <p>午後は宮澤紀子が講義「きのこのおいしさと栄養を科学する」を担当し、実験は「きのこの旨味を探る官能評価試験による旨味の診断」と題して干しシイタケの水戻し汁の旨味やシイタケのおいしさなどを官能評価法によって科学的に解析し考察します。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:30～10:00	(Aクラス、Bクラスとも同一スケジュール) 受付開始(世田谷キャンパス 7号館2階化学第4実験室)			筆記用具	
10:00～10:30	開講式(あいさつ、科研費の説明)				
10:30～11:00	講義①きのこ環境・きのこ健康について科学する				

11:00～11:15	トイレ休憩	特記事項
11:15～12:15	実験①きのこの酵素と成分のパワーを知ろう！	
12:15～13:15	昼食・休憩(東京農業大学「食と農」の博物館に移動)	
13:15～13:45	講義②きのこのおいしさと栄養を科学する	
13:45～14:45	実験②きのこの旨味を探る 官能評価試験による旨の診断	
13:45～15:00	トイレ休憩	
15:00～15:30	クッキー&ティータイム (きのこスイーツのレシピ紹介と試食実施)	
15:30～16:15	東京農業大学「食と農」の博物館・バイオリウムの見学	
16:15～17:00	ディスカッション・未来博士号の授与と閉講式・アンケート記入	
17:00	解散	

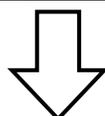
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	東京農業大学エクステンションセンター事務室 鈴木・渡辺
住所：	東京都世田谷区桜丘 1-1-1
TEL 番号：	03-5477-2562
FAX 番号：	03-5477-2643
E-mail：	shougai@nodai.ac.jp
申込締切日：	平成 29 年 7 月 27 日(木)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、8月4日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
江口 文陽	2014 年度～ 2016 年度	基盤研究 C	26450235	加齢性疾患に対する高次機能性きのこ栽培技術の開発とその効能評価
江口 文陽	2011 年度～ 2013 年度	基盤研究 C	23580234	ヒト飲食により多機能性を発現するきのこの生体内での作用機序の解明
江口 文陽	2008 年度～ 2010 年度	基盤研究 C	20580180	きのこ(ヒカゲシビレタケ)を活用した神経疾患改善剤の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。